

特別委員会

行政改革特別委員会

5月12日の委員会で、委員より提出された市の取り組みの不足などに踏み込んだ提案事項について、自由討議を行い、6つの分野に分類し、7月25日に「職員の意識改革と人材育成について」、8月22日に「業務改善について」を協議題とした。また、7月25日には一連の不祥事を受けて、行政改革推進の立場での「再発防止について」も協議題とした。

職員の意識改革と人材育成については、「次城県牛久市では、市の人事戦略書である「人材育成基本方針」を定め、自ら考え行動できる職員を育成するため、①勤務評定制度 ②人材育成の職場風土づくり ③能力開発の必要性などを定めており、糸魚川市でも取り組むべきだがどうか。また、少数精鋭による効率的な行政運営を可能とするため、本来の勤勉手当への趣旨に基づき勤務評定の手当てへの反映について検討すべき。」という提案に対し、市の考え方として「人材育成及び研修に関する基本方針に基づき、毎年度、実施計画を定め、人材育成に取り組んでいる。人事考課制度は目標管理を主体に取り組んでいる。勤務評定の結果について

中間報告

では、昇給や人事異動に反映しているが、一步踏み込んで勤勉手当への反映について検討する。」と示された。

業務改善については、「大きな改善運動」と「いつでも改善運動」で成果を上げている牛久市の例をあげての提案に対し、「職員提案や職場実践活動により、職員の積極的な市制への参画意識の高揚、事務の効率化及び事務改善を実施している。職員提案については、市長の前で発表し、プレゼンテーション力の向上を図っている。また、職場実践活動では、事務改善に繋がると思われること、良いと思ったことをすぐに各係単位で取り組んでいる。それらの活動を庁内で共有し、他の部署でも実践するよう取り組みを進めている。」と市の考え方が示された。

不祥事の再発防止については、不祥事が発生した異常事態を厳しく捉えた再発防止処置を望む委員の総意が、外部の目を入れた職員不祥事防止対策委員会、内部監査、会計監査を要求する意見となつて表れ、行政側では今後検討し、総務文教常任委員会で報告することとなった。

市の重要課題等について、専門的に調査研究を行うため、必要に応じて設置される委員会です。

新幹線・交通網対策特別委員会 中間報告

新幹線・交通網対策特別委員会では、8月19日および9月1日に委員会を開催した。

姫川港の整備促進については、港湾整備は順調に推移しており、緩衝緑地帯の整備も終了したが、8月19日時点では24時間操業は行われていない。今後の荷役状況等を見て、24時間操業が行われる見込みとのことであった。その他、港湾の津波対策や、釣り人への配慮についても確認、要望等をした。

地域高規格道路松本系魚川連絡道路市内区間の整備区間への昇格については、高規格道路としてのルートが決まらない中で西中バイパスが事業化されているが、そこにルートを重ねても手戻りは生じないという判断で進められているとのことであった。今後、市民を巻き込んだ大きなイベントを起こし、熱意を感じさせる思い切った要望活動をする必要があると要望した。

北陸新幹線開業に伴う並行在来線と大糸線の活性化対策について、9月1日に開催した委員会は、北陸新幹線開業に伴う運行計画の概要が公表されたことを受け、急遽開催した

ものである。速達型列車「かがやき」が県内駅に停車しないことや、特急「はくたか」「北越」が廃止となり、特急「しらゆき」の運行が示されたが、新潟―糸魚川駅間の快速列車は1本であり、懸念されていたことが最悪の結果で出た厳しい発表であった。

行政側としても、優等列車については大きな懸念があるので、増便は無理にしても、振替等を要望していきたい。この結果は本意であり、新潟県とJR東日本には働きかけをしたいと答弁があつた。

委員からは、上越と糸魚川の戦略とで差が出たのではないか。見直していく必要があるのではないかとの意見も出された。

委員会としては、発表された運行計画では、糸魚川駅の拠点性、利便性の低下等が懸念されることから、今後とも国・県及びJR東日本、西日本に強く働きかけるべきとの集約を行った。

今後も、上越三市議会及び富山県東部の各議会との連携も含め、市行政とも歩調を合わせた効果的な要望活動を行うこととした。